

ハロー山梨演劇塾YaYaYa 第25回公演

ノイちゃんとギヤオちゃん

作・演出 藤谷 清六

Cast

あらすじ

東京、羽田空港の近くのウォーターフロントにある高級マンションでの出来事です。妻を亡くした年老いた牧師が住んでいます。その隣には、夫を亡くした老婦人が住んでいて、老牧師はタイ人の女中さん、老婦人はタイ人の男性をお手伝いさんとして使っています。

それぞれの部屋で起こるドタバタ劇。この牧師と老婦人の子どもたちが、それぞれの遺産相続の問題で度々マンションを訪ねて来ます。

さて、どうなることでしょうか・・・？



ノイちゃん KAZUKI



ギヤオちゃん 渡邊 英里子



宮島真一 mu ma



松本綾子 月野 小雪
(劇団やまなみ)



松本邦子 鶴岡 悠
(ap.VAN)



松本早苗 小沢 由香



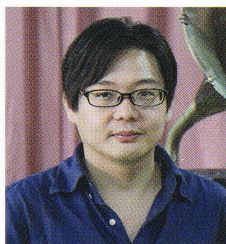
宮島和夫 小池 武



宮島恵子 上田 明日夏

キャスティングに6ヶ月！！

藤谷清六さんのお芝居で、私は何年か舞台の裏方をやっています。今は本業が忙しく、舞台のお手伝いはあまりできませんが、彼とは今でも週に一度会っています。彼の演劇に対する真面目な姿を見ると、本作のような理屈抜きに楽しめる軽いタッチのコメディを書ける人とは思えません。時々彼と会食する時に、彼は次回作の構想を大声で話します。その内容は悲劇だったり喜劇だったり人情劇であったりと実に多種多様で幅広く、テーマの多さに驚きます。そして既に何冊も書きためているとの事！そのエネルギーはどこから来るのか？私は常々不思議に思っているのです。ところで今回の作品について、彼は「53年間のタイ国との合併会社の繋がりと、学生時代のキリスト教の教えの影響を色濃く受けている」と話しています。確かにこの2つがベースになければ、この戯曲は生まれなかったでしょう。一方、プロデューサーとしての山本眞樹さんは、キャスティング(人集め)には約6ヶ月かかっています。役者並びに、十数人の裏方さんを集めるというのは大変なことなのです。その苦勞を目の当たりにすると、たとえ10枚でもチケットを売らなければ！と思うのです。今年、お城の南にオープンした花小路『こうふ亀屋座』での公演が・・・楽しみです。

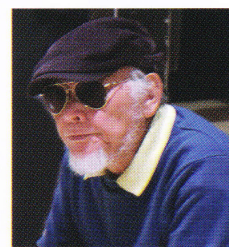


書道家
山田 蒼岳

ご挨拶

何故、私が21年間も芝居の台本などを書き続けてきたか？

ふと立ち止まって考えてみますとその原点は、私が子供の頃、近所の子や同級生などを集めて、夏の夜に自作の怪談話をしたことにあるかもしれません。皆、本当に怖がって、中には泣き出す子もいました。つまり、私が真面目に話すホラ話を、まるで今本当に起きている出来事のように思ってもらうことが快感でした。しかし、どんなホラ話でも、ひとたびお芝居として舞台上で立体化する際は「ストレートなリアリズム演劇の手法」が必須条件となります。その条件を満たすべく、この度のコメディにおいても出演者たちは、このホラ話を我がこととして、真剣に厳しい稽古を積んでおります。皆様ぜひ『こうふ亀屋座』へお越しください。



藤谷 清六

Staff

演出／藤谷 清六 演出助手／土井 マチ子・島津 久美子 舞台監督／山田 寛幸 舞台監督助手／清水 えみこ
音響／塚田 仁 照明／中西 寿美江 映像・DVD制作／鷹野 亮司 衣装／鎌倉 博美 ダンス・歌指導／関根 涼子
タイ語指導／小池 実子 関西弁指導／青木真里子 宣伝・デザイン／山中みゆき 制作／松永 博美 プロデューサー／山本 眞樹